

市内の樹木の管理について



公明党
原田 剛 議員



質問 桜の樹木とクビアカツヤカミキリ対策についてこれまでの取り組みを伺う。

市長 多摩川堤防沿いの桜は植樹後約60年が経過し衰弱が見られるため樹木医による診断を実施し、倒木の危険がある桜は通行者の安全確保のため令和7年度に伐採を行った。

クビアカツヤカミキリの対策としては、令和元年以降、薬剤の注入等の対処を行い、令和7年度からは駆除に対する奨励品交付事業を実施し効果的な駆除の促進に努めている。

質問 民地から道路へ越境した樹木の適切な管理について考えを伺う。

市長 令和5年4月の民法改正に

より、越境した樹木を一定の条件下で道路管理者が切除できるようになったが、市では従来どおり民地の樹木は個人の財産と考えている。所有者の責任による適正な管理を求め、直接指導や書面通知、市広報やホームページでも周知を行い、粘り強く指導を続けている。



▲倒木の恐れがあり伐採した桜の木

児童・生徒のインターネットの適切な使用について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 福生市立学校に通う児童・生徒にいじめ動画拡散等の事案が発生した場合、学校や教育委員会はどのように対応するのか伺う。

教育長 市教育委員会では、起きてからの対応ではなく、未然防止が何よりも重要であるという認識のもと、魅力ある学校づくりに取り組む

ことを前提として、まず被害児童・生徒の安全確保を最優先に心身のケアを直ちに実施する。スクールカウンセラー等専門職を活用し、安心して学校生活を送れる環境を確保する。さらに、加害児童・生徒に対しては厳正に指導し、犯罪行為に該当する可能性がある場合には警察とも連携

し毅然とした対応を行う。SNS上に動画等が投稿・拡散された場合には警察や関係機関と速やかに連携し組織的に対応を進める。学校に対しては、児童・生徒に対する暴力行為やいじめに関する指導と合わせて、改めて情報モラル教育を実施するよう強い危機感を持って指導していく。



防災・減災の取組について



公明党
青木 健 議員



質問 本市の災害関連死に対する取り組みの現状と、災害関連死認定審査会の設置や規定の整備状況等について所見を伺う。

市長 近年被災地から災害関連死が多く報告されていることから、東京都は本年度より新たな体制づくりに着手した。本市においても最優先

課題として、西多摩保健医療圏地域災害医療連携体制の下、本市の災害関連死防止の体制を構築すべく、福生市の災害医療コーディネーター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、さらに西多摩地域の地域災害医療コーディネーターと協議を進めている。犠牲者への弔慰金については、災害

弔慰金の支給等に関する法律及び福生市災害弔慰金の支給等に関する条例により、遺族の申請に対して市が支給する。災害関連死を認定する審査会の設置規定は自治体の努力義務ではあるが、被災地の状況を踏まえ、今後審査会に係る規定等の制定に向け関連部署で協議し取り組んでいく。



公共施設マネジメントと地域運営組織について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 公共施設マネジメントと地域運営組織の在り方についての所見を伺う。

市長 今後、学校を核とした公共施設の再編を進めていくに当たり、児童・生徒数の推計、施設の劣化状況などを踏まえた再配置の検討とともに地域の公共施設の複合化・集約

化を見据えた配置も検討する。公共施設の再編と地域コミュニティとの連携は計画の初期段階から行うことが重要であり、公共施設の複合化等にも地域との連携や地域コミュニティの創出の視点が必要不可欠であるため、丁寧に取り組んでいく。

[福生市公園施設整備計画について](#)

質問 市民参加型の公園管理のさらなる推進について所見を伺う。

市長 現在、市民に清掃や美化活動等で協力を得ており、市民参加型の公園管理は市民の積極的な関与で地域の連携強化や公園の維持管理の負担の軽減等も期待できるため、引き続き多様な手法を研究していく。



▲ボランティアの皆さんによる活動の様子(市HPより)

ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた取組について



正和会
武藤 政義 議員



質問 ゼロカーボンシティやエコシティふっさの実現に向けて、現在の取り組みと今後について伺う。

市長 ゼロカーボンシティやエコシティふっさの実現には、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で、また時には協働して考え行動することが必要である。市民との協働の取り

組みとして、福生市環境マネジメントシステムによる地球温暖化対策の推進があり、令和8年1月15日号の広報で市有施設での環境配慮行動の推進に御協力いただく市民監査委員を紹介し、節電や紙削減など家庭でもできる取り組みを掲載した。市からの発信で市民の環境に対する興味

や行動を後押しし、地域全体の地球温暖化対策推進につなげたい。また、令和8年3月中に地域の脱炭素化の実現に向け武陽ガス株式会社と包括連携協定を締結予定。今後も市民・事業者と共に地域全体でゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みや情報発信に努めていく。



▲広報で紹介したエコ活動(広報ふっさ1月15日号より抜粋)

人口と少子化について



公明党
川崎 善友 議員



質問 本市の人口の現状分析と推移及び少子化対策について伺う。

市長 市の総合戦略で掲げた人口規模の維持・確保を目指す令和6年度までの人口の目標値は達成し、定住化施策が順調に進捗しているとの評価である。将来人口推計では、令和31年頃から全ての年齢区分におい

て人口減少となるが、子育て世代の転入促進による人口減少の抑制とまちの活力保持のため、今後本市で出産し子育てを続けたいという希望をかなえる子育て支援や環境整備など、将来世代の形成に向けた施策を推進し、少子化の進行を抑制していく。

[学校給食について](#)

質問 福生市立小・中学校の給食費の無償化の成果と課題を伺う。

教育長 成果は保護者の経済的な負担軽減と職員の給食費徴収事務の負担軽減の2点。課題は全額公費負担を継続するための財源の確保である。引き続き食育の生きた教材である学校給食の充実を図っていく。

